2015 年 07 月 16 日作成（第 5 版 / 新記載要領に基づく改訂）　　届出番号 13B1X00210000004
2014 年 01 月 20 日作成（第 4 版）

機械器具 58　整形用器具器械
一般医療機器　非能動型呼吸運動訓練装置（JMDN コード：11634001）

ピーフレックス

【形状・構造及び原理等】

［形状］

負荷方式：空気孔選択式
寸法：約 35Φ×138mm
質量：約 20g

［動作原理］

ダイヤル調整可能な空気孔により吸気時に一定の呼吸抵抗をもたらします。

【使用目的又は効果】

本装置は、ダイヤル調整可能な空気孔により吸気時に一定の呼吸抵抗を与え、呼吸運動を改善させることを目的とした訓練器です。

【品目仕様等】

負荷設定範囲：1-6（吸気孔 6 段階）

【使用方法等】

1）ダイヤルを回して、空気孔を『1』にセットします。
  ・『1』～『6』の順に抵抗が大きくなり、徐々に吸入しにくくなります。
2）楽な姿勢で座り、ピーフレックスを水平に持ち、マウスピースを口にくわえます。
3）鼻にノーズクリップを付けて呼吸をします。
  ・鼻や口のまわりから、空気が漏れないように注意してください。
4）すこし強めに吸入し(2 秒くらい)、普通に呼出します。
5）最初は一日に 10～15 分くらい訓練を行います。
  ・一日の訓練が終了したらトレーニング日誌に訓練時間を記入します。訓練の成果を見るのに必要ですので、必ず記入してください。
6）徐々に訓練時間を一日に 20～30 分に延長していき(あるいは 15 分の訓練を一日 2 回行う)、それぞれ週に 3～5 回行います。
7）一日 30 分(あるいは 15 分を一日 2 回)の訓練が週 3 回楽にできるようになったら、次の段階の負荷抵抗に進みます。
8）負荷抵抗の設定を変更したら、5)～7)の手順で一日 10～15 分くらいの訓練から徐々に時間を延長(20～30 分あるいは 15 分を一日 2 回)していきます。
  ・訓練中に息切れや動悸などが生じた場合は、すぐに訓練を中止して下さい。訓練を再開する場合は負荷抵抗を一段階下げて行ってください。
    例）空気孔『4』で訓練を中止したならば再開時には空気孔『3』にする。

【使用上の注意】

・本装置は医師の指示に従ってお使いください。
・訓練中に息切れや動悸などが生じた場合は、すぐに訓練を中止してください。
・無理な訓練は避け、疲れ過ぎないように注意してください。
・付属の酸素アダプタを使用する場合は、医師の指示に従ってください。

【保守・点検に係る事項】

・本装置の洗浄方法は以下に従って下さい。
  1）本体からマウスピースを取りはずし、ぬるま湯で洗浄してください。
  2）洗浄後はよく振って水滴を落とし、十分に乾燥させてから保管してください。
  3）決して煮沸したり、熱を加えたりしないでください。
  4）使用前には完全に乾いていることを確認してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：チェスト株式会社
TEL：03-3813-7200

製造業者：Respironics Medical Products (shenzen) Co., Ltd.
　　　　　中華人民共和国

取扱説明書を必ず参照してください